



日置市
Hioki City

保存版

令和4年2月制作

防災 ハザードマップ

災害リスクに備え、命を守る。



多言語版 災害時に便利なアプリとWEBサイトへのアクセス(内閣府 防災情報のページ)

ことば		リーフレット	QRコード(共通)
にほんご 日本語	日本語	災害時に便利なアプリとWEBサイト	
えいご 英語	English	Helpful Apps and Websites in the Event of Disaster	
ちゅうごくごかんたいじ 中国語(簡体字)	中文(簡体)	灾害发生时便于使用的应用程序和网站	
ちゅうごくごはんたいじ 中国語(繁体字)	中文(繁體)	發生災害時好用的app與網站	
かんこくご 韓国語	한국어	재해 시에 편리한 앱과 웹사이트	
すべいんご スペイン語	Español	Aplicaciones y páginas web útiles en caso desastre	
ポルトガルご ポルトガル語	Português	Aplicativos e sites úteis em caso de desastre	
べとなむご ベトナム語	Tiếng Việt	Các ứng dụng và trang web tiện lợi khi có thiên tai	
たいご タイ語	ภาษาไทย	แอปพลิเคชันและเว็บไซต์ที่มีประโยชน์เมื่อเกิดภัยพิบัติ	
いんどねしあご インドネシア語	Bahasa Indonesia	Aplikasi dan situs web yang berguna saat bencana	
たがるご タガログ語	Tagalog	Mga kapaki-pakinabang na apps at website sa panahon ng sakuna	
ねばーご ネパール語	नेपाली भाषा	विपद् आइपर्दा सजिलो हुने एप्लिकेसन र WEB साइट	
くめーご クメール語	ភាសាខ្មែរ	កម្មវិធីនិងគេហទំព័រដែលមានភាពងាយស្រួលពេលកើតមានគ្រោះមហន្តរាយ	
ひるまご ビルマ語	မြန်မာ	ဘေးအန္တရာယ်ဖြစ်ပွားချိန်တွင် အသုံးဝင်သော အက်ပလီကေးရှင်းများနှင့် ဝက်ဘ်ဆိုက်များ	
もんごるご モンゴル語	Монгол хэл	Байгалийн гамшгийн үед хэрэгтэй аппликэйшнүүд болон сайтууд	

出典:内閣府 防災情報のページ (<http://www.bousai.go.jp/kokusai/web/index.html>)



日置市
Facebook



日置市
LINE



日置市
HP

〒899-2592

鹿児島県日置市伊集院町郡一丁目100番地

電話番号：099-273-2111

総務企画部総務課防災係
電話番号：099-248-9401

自助・共助

1~2

風水害

3~4

土砂災害

5~6

津波災害

7~8

地震災害

9

原子力災害

避難情報

11~14

避難所一覧

15~16

自主防災

17~18



防災ハザードマップ

Hioki City Hazard Map

防災ハザードマップの使い方

この防災マップは、さまざまな災害における人的被害を軽減することを目的として、皆さんが安全な行動をとるために必要な情報を掲載しています。

【災害想定として】

- 土砂災害(特別)警戒区域(令和3年7月現在)。
- 河川の浸水想定区域(平成29年3月県指定の水位周知河川神之川流域での最大規模)。
- 津波浸水想定(「鹿児島県地震等災害被害予測調査」平成25年3月)。

なお、地図に示した区域以外の場所でも、場合によっては浸水や土砂災害が発生することがありますので、十分注意して行動してください。

- **まず、自宅の位置を確認しましょう。**
- **次に、自宅付近の避難所などを確認しましょう。**
- **災害想定区域を避け、避難経路を決めましょう。**
- **実際に避難経路を歩いてみて、安全を確認しましょう。**

自助・共助・公助

災害による被害を最小限にするには、自助・共助・公助の連携が必要です。

自助

地域の防災力

災害時の被害を抑える

共助

自主防災組織

～自分たちの地域は自分たちで守る!～

【自助】
(1人1人の役割)

災害に備えて自分でできることを考え、対策しておくことを「自助」といい、災害の対策の基本となります。まずは自分や家族の命を守ることが大切です。自分を守ることで、まわりも方も助けることができます。



共助

**地域の
防災力の
向上**

公助

自助

【共助】
(地域の役割)

災害時は、地域での助け合いが不可欠です。隣近所や地域全体で力を合わせ、高齢者などの要配慮を手助けをしたり、避難所の運営に協力するなど相互に助け合う「共助」が重要な役割を果たします。



【公助】
(行政の役割)

国や県、市町村などでは、平素から災害発生に備え、防災に対する「啓発・準備・整備」を進めています。災害時には、状況を把握しながら、迅速な情報提供、的確な災害対応ができるように努めていきます。

自助+共助+公助の3つの軸



避難行動判定フロー

防災マップ上で自宅がある場所は**土砂災害警戒区域(イエローゾーン)**・**土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)**ですか？

はい

いいえ

災害の危険があるので、原則として、**自宅外避難**が必要です。

避難先は小中学校・公民館等ではありません。
安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。

原則として、**自宅避難**をしましょう。

※色が塗られていなくても、危険な場所もあるので事前に周辺をよく確認しましょう。自治体から発令される避難情報（避難指示等）をもとに必要なに応じて避難してください。

ご自身または、一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

はい

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

はい

いいえ

警戒レベル3で避難

高齢者等避難が発令されたら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう。

警戒レベル3で避難

高齢者等避難が発令されたら、自治体が指定している**避難所に避難**しましょう。

警戒レベル4で避難

避難指示が発令されたら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう。

警戒レベル4で避難

避難指示が発令されたら、自治体が指定している**避難所に避難**しましょう。

※土砂災害の危険があっても十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は、自宅避難も可能です。
※避難とは難を避けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

< 避難情報等 >

< 防災気象情報 >

危険度	警戒レベル	避難行動等	避難情報等	防災気象情報
高	警戒レベル5	浸水の恐れがなく、崖から離れた自宅の部屋などで安全を確保しましょう。	緊急安全確保	大雨特別警報 氾濫発生情報
～警戒レベル4までに必ず避難～				
	警戒レベル4	危険な場所から全員避難しましょう。	避難指示	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報
	警戒レベル3	避難に時間のかかる高齢者や障がいのある方は、危険な場所から避難しましょう。	高齢者等避難	大雨・洪水警報 氾濫警戒情報
	警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により自らの避難行動を確認しましょう。	—	大雨・洪水・高潮 注意報
低	警戒レベル1	防災気象情報等の最新情報に注意する等、災害への心構えを高める。	—	早期注意情報

※1 各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。



風水害

Hioki City Hazard Map

自助・共助 1~2
風水害
3~4
土砂災害
5~6
津波災害
7~8
地震災害
9
原子力災害
10
避難情報
11~14
避難所一覧
15~16
自主防災
17~18

集中豪雨

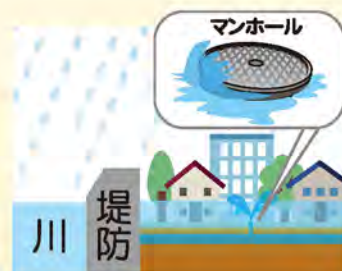
● 短時間で危険な水位

河川、溪流、雨水路などは、激しい雨が降ることやまわりから雨が流れ込むことで、数分から数十分で危険な状態となります。



● 内水はん濫に注意

集中豪雨等により水量が雨水路等の排水能力を超えると、あふれた水が低い場所に集まり、短時間のうちに浸水が起こる場合があります。



● 離れた場所の雨でも影響する

自分のいる場所で強い雨が降っていなくても、上流で降った雨が流れてきて、下流ではん濫する場合があります。



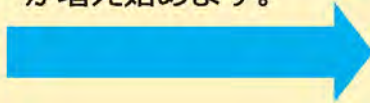
洪水

大雨などを原因として、河川の流量が異常に増加することによって堤防の浸食や決壊、橋の流出等が起こる災害を洪水災害といいます。一般的には、堤防の決壊や河川の水が堤防を越えたりすることによって起こる氾濫を洪水と呼んでいます。

● 洪水はん濫は、どうやって起こるのか



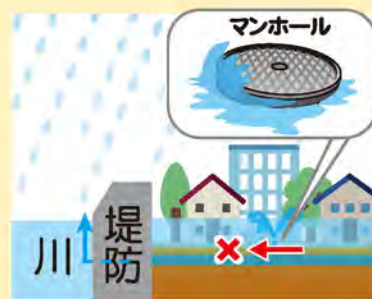
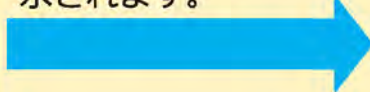
大雨によって川の水が増え始めます。



水位が上昇し、川の堤防を越えて水があふれます。



降った雨は、排水路などをおって川に排水されます。



大雨が降ると川の水位が上がり、川に排水されずに排水路などから水があふれます。

※排水路の排水能力を超える雨が降った場合にも、内水はん濫が発生するおそれがあります。



台風

● 台風接近時の心得

- 停電に備えて懐中電灯やラジオの準備を
- 避難に備えて貴重品などの非常持出品の準備を
- 台風情報を注意深く聞く
- むやみに外出しない
- 外出時は早めの帰宅を
- 断水に備えて飲料水の確保を
- 鉢植えや物干し竿等飛散の危険が高い物は室内へ
- 強風による飛散物などに備えて、雨戸を閉める



● 自宅の台風対策

- 瓦のひび、割れ、ずれ、はがれはないか
- ブロック塀にひび割れや破損箇所はないか
- 窓ガラスにひび割れやがたつき、ゆるみはないか
- 壁に亀裂や痛みはないか
- 雨どいに降灰、落ち葉、土砂がつまっていないか



落雷

- レジャーに出かける際は、事前に気象情報(竜巻注意情報・雷注意報)をチェックしましょう。
- 「雷注意報」が発表されている時は、海などの周囲が開けた場所へは行かない。
 ※雷は周囲よりも高いところに落ちやすい。



雷鳴が聞こえたら!

- 雷鳴が聞こえたら、屋外にいる人は、建物や自動車の中へ避難しましょう。



雨宿りで木のそばに近づくのは危険です。
 ※木や電柱から4m以上離れましょう。

- 近くに避難する場所がない場合は、姿勢を低くしましょう。
- 周囲の開けた場所では、雨が降っても傘をさしてはいけません。
- 釣り竿やゴルフクラブ等の長い物は、体から離して地面に寝かせましょう。





土砂災害

Hioki City Hazard Map

自助・共助
1~2
風水害
3~4
土砂災害
5~6
津波災害
7~8
地震災害
9
原子力災害
10
避難情報
11~14
避難所一覧
15~16
自主防災
17~18

土砂災害の警戒区域

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合、住民の生命・身体に危害が生ずるおそれがあると認められている土地の区域

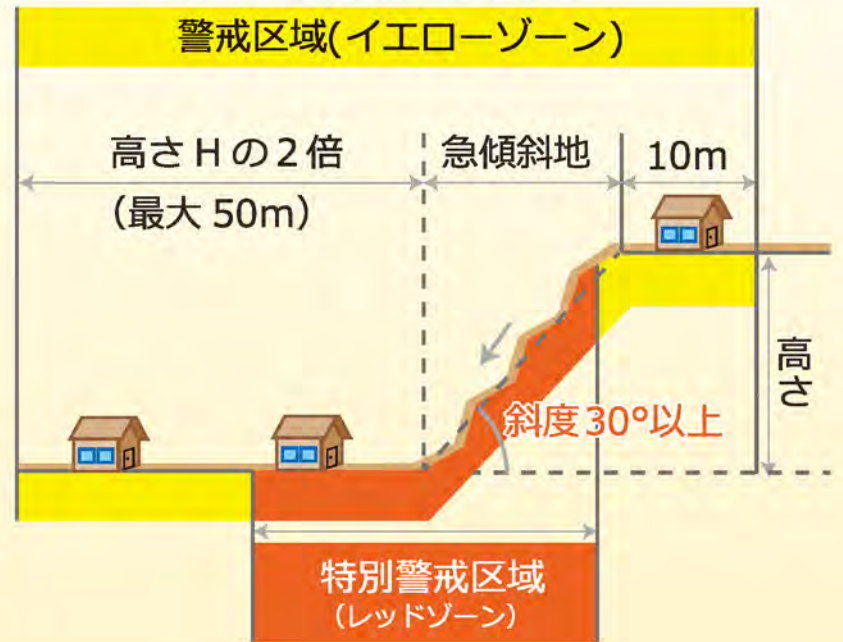
※イエローゾーンは、地形で決定

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)のうち、建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域

※レッドゾーンは、高さ・斜度・土質等から計算で決定

特別区域・特別警戒区域の指定範囲 (急傾斜地の崩壊の場合)



土砂災害の種類

「土石流危険渓流」

土石流



斜面の土・石・砂が大雨による水とともに、一気に谷を流れ下る現象

「急傾斜地崩壊危険箇所」

斜面崩壊
(がけ崩れ)



急ながけ地や山の斜面が突然崩れ落ちる現象
国内で最も件数の多い土砂災害

「地すべり危険箇所」

地すべり



粘土などの地層の上にある斜面が、ゆっくり動きだす現象

土砂災害が発生しやすい時

土砂災害は、地中にたくさんの雨が貯まったところに強い雨が降ると発生しやすくなるという特徴があります。

日本では近年、「集中豪雨」や「局地的大雨」が増えていますが、これらは発達した積乱雲(入道雲)によって引き起こされます。

こうした「集中豪雨」や「局地的大雨」が発生した時は土砂災害の危険性も高まるので、特に注意が必要です。



県内の土砂災害(特別)警戒区域及び土砂災害危険箇所等の情報をご覧ください。

土砂災害の前兆

土砂災害が発生するときには、何らかの前兆現象が現われることがあります。

下に挙げたものは主な前兆現象です。こうした前兆現象に気づいたら、周囲の人にも知らせ、いち早く安全な場所に避難することが大切です。



小石がパラパラ落ちてくる。



雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。



川の水が濁り、流木が混ざり始める。



山鳴りがする。



斜面から水が噴き出す。



沢や井戸の水が濁る。



地面にひび割れができる。



異様なニオイがする。
(土臭い、木のニオイ等)

土砂災害対策

1. 住んでいる場所が「土砂災害警戒区域」か確認する。
2. 雨が降り出したら「土砂災害警戒情報」に注意する。
3. 土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域にお住まいの方は、土砂災害警戒情報(警戒レベル4)が発表されたら、必ず避難する。
4. 気象庁が発表する大雨・土砂災害危険度分布を参考にしましょう。
5. 土石流は速度が速いため、土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。



「土砂災害警戒区域」を確認しましょう



「土砂災害警戒情報」に注意しましょう



警戒レベル4で全員避難



大雨に注意しましょう



逃げ方を覚えましょう



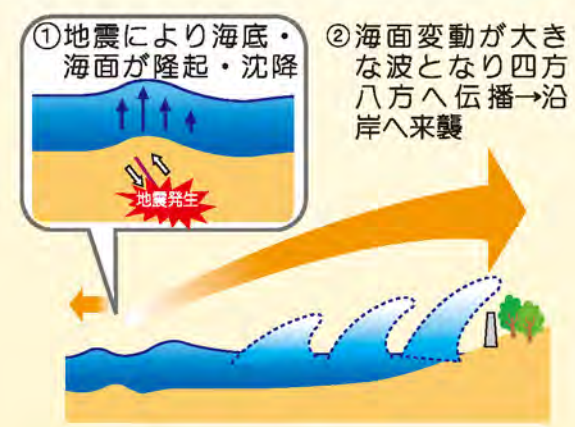
自助・共助
1~2
風水害
3~4
土砂災害
5~6
津波災害
7~8
地震災害
9
原子力災害
10
避難情報
11~14
避難所一覧
15~16
自主防災
17~18

津波について

- 深海ではジェット機なみの猛スピード
- 2波、3波と繰り返す
- 波高が想像以上の高さになることも
- 沖合いでは津波を感じない
- 海岸に近づくにつれ津波の高さは急激に大きくなる

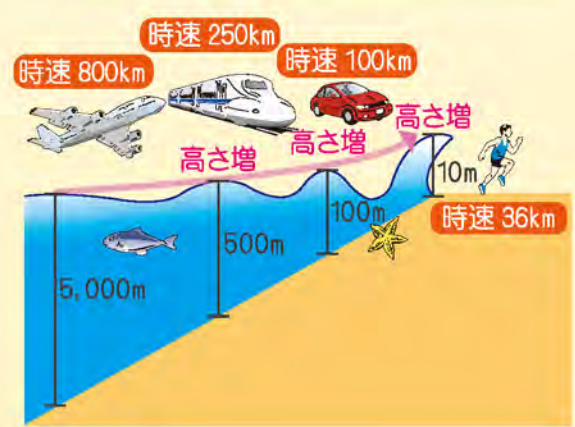
1.地震による津波発生の仕組み

海底下で大きな地震が発生すると、断層運動により海底が隆起もしくは沈降します。
これに伴って海面が変動し、大きな波となって四方八方の広い範囲に伝わるものが津波です。



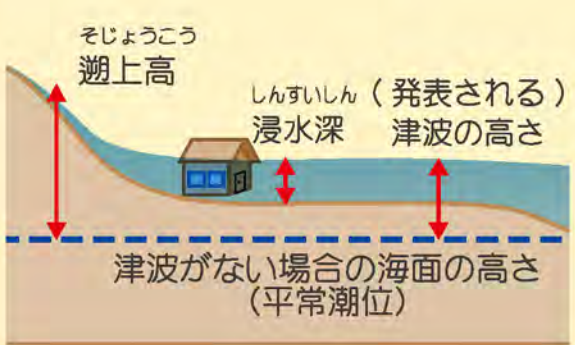
2.津波の速さ

津波は、海が深いほど早く伝わる性質があり、沖合いではジェット機に匹敵する速さで伝わります。
津波は沿岸に近づき水深が浅くなるにつれ、急激に高くなります。津波の速度は非常に速く、見てから逃げるのでは間に合いません。



3.津波の高さについて

地震が起きて津波のおそれがある場合は、予想される津波の高さにより、「津波注意報」、「津波警報」、「大津波警報」が津波予報区ごとに発表されます。
また、津波の到達が満潮時に重なった場合は発表された津波の高さより高くなることもあり、沿岸の地形の影響などにより局所的に高くなることもあります。川沿いなどは津波の遡上が発生することもあります。



浸水深と避難行動

津波の浸水が0.3mでも、人は流されてしまいます。さらに、1mの津波に巻き込まれると死亡率は、ほぼ100%とされています。
逃げ遅れた場合は、無理をして遠くの避難場所を目指す必要性はありません。近くの建物の上層階に避難しましょう。



津波警報・注意報の種類ととるべき行動

種類	発表基準	予想される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の 場合の表現	
大津波警報 (特別警報)	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	<ul style="list-style-type: none"> 木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。 <p>※東日本大震災のような巨大な津波が襲来するおそれがあります。</p>
		10m (5m<予想高さ≤10m)		
		5m (3m<予想高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	<ul style="list-style-type: none"> 標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合	1m (0.2m<予想高さ≤1m)	(表記なし)	<ul style="list-style-type: none"> 海岸付近にいる人や、海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。 海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。

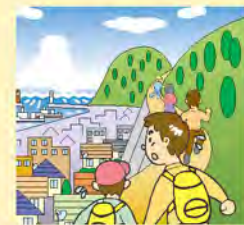
津波から避難する5つのポイント

● 高い場所へ速やかに避難する

より高い場所へ、より海から遠い場所へ速やかに避難しましょう。

● なるべく徒歩で避難する

車では渋滞や危険を招く可能性があるため、なるべく徒歩で避難しましょう。



● 河川や海岸には、近づかない

地震の発生や、津波の警報・注意報が発表された場合、海岸や河川は危険ですので、釣りや海水浴を行っている方は、速やかに海岸から離れ、高い場所へ避難しましょう。

● 正しい情報を入手する

防災行政無線やテレビ、ラジオなどから正しい情報を入手しましょう。

● 避難指示に従う

避難指示が発令されたら、ただちに指示に従い、安全で高い場所にすみやかに避難しましょう。



地震災害

Hioki City Hazard Map

地震発生時の時間経過と行動(屋内編)

地震の揺れを感じたら、どんな場所でも「あわてず、まず身を守る」ことが大切です。

地震発生

揺れがおさまって

2分
〜
5分

5分
〜
10分

10分
〜
半日

半日
〜
3日

● まず、身の安全

- ・ 家族への声かけ。
- ・ 家具から離れる。
- ・ クッション、雑誌などで頭を保護する。
- ・ 机の下に入る。
- ・ ガラス面から離れる。



● 大揺れがおさまった、落ち着いて行動

- ・ 台所やストーブなど火の始末をする。
- ・ 避難の時は、ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉める。
- ・ 危険なので、あわてて外に飛び出さない。



● 家族の身の安全を確認、確保

- ・ 津波警報発表時は、すぐに危険区域から率先避難する。
- ・ 家族の安全の確認、確保をする。
- ・ 災害情報、避難情報入手する。
- ・ 避難のための出口の確保をする。
- ・ ガラス片や転倒家具に注意する。



● 隣近所の安否確認、助け合い(可能な場合)

- ・ 余震による家屋の倒壊や津波の危険があるため、津波警報が解除または自宅の安全が確認できるまでは、屋外の安全な場所へ避難する。
- ・ 倒壊家屋や転倒家具の下敷きになっている人の救出をする。
- ・ 火災発生時の消火活動をする。
- ・ けが人の救護をする。



● 2次災害に気をつける

- ・ 地震発生後数日間は、崩れそうな建物や河川・海・崖などに近づかないようにする。
- ・ 水道、ガス、電気、電話等ライフラインをはじめ、食糧の供給が途絶える可能性があるため、最低でも3日分、できれば1週間分は、家族でしのげるように、生活必需品や非常用品を備えておく。

地震の揺れと被害想定

震度0 人は揺れを感じない。	震度5弱 棚の食器や本が落ち、家具が移動することがある。窓ガラスが割れ、弱い壁に亀裂が生じることがある。
震度1 屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。	震度5強 棚の多くのものが落ちる。タンスが倒れることがある。補強されていないブロック塀、据付の悪い自動販売機、墓石の多くが転倒
震度2 屋内では多くの人が揺れを感じ、眠っている人の一部は目を覚ます。吊り下げ物がわずかに揺れる。	震度6弱 立っていることが難しい、多くの建物が移動、転倒する。
震度3 屋内のほとんどの人が揺れを感じ、恐怖感を覚える人もいる。棚の食器類が音をたてることもある。	震度6強 立っていることができず、這ってしか動けない。家具のほとんどが移動、転倒する。
震度4 屋内ではかなりの恐怖感があり、眠っている人のほとんどが目覚め、座りの悪い置物が倒れる。	震度7 人は自分の意志で動けない。ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。

自助・共助
1~2
風水害
3~4
土砂災害
5~6
津波災害
7~8
地震災害
9
原子力災害
10
避難情報
11~14
避難所一覧
15~16
自主防災
17~18



原子力防災対策を重点的に実施すべき区域



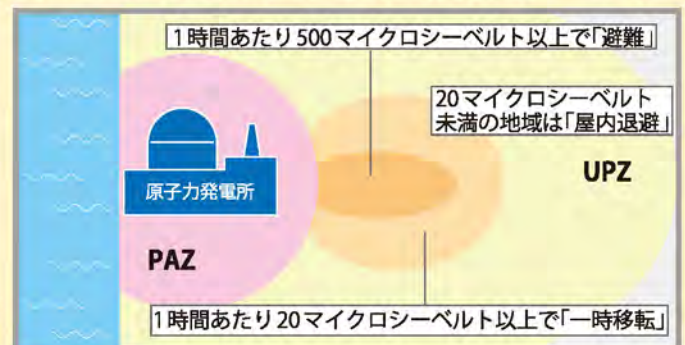
原子力災害とは

原子力災害とは、原子力発電所の事故により、発電所から大量の放射線物質が放出され、原子力発電所周辺の住民に生命や身体または財産に被害を与えることをいいます。

原子力災害は、一般的な自然災害と異なり、放射線を目や耳などの五感で感じることができないため、放射線の強さ、放射性物質の拡散状況、汚染の有無などがわからず、どのような行動をとればいいのか自分では判断できません。

そのため国や県、市からの正確な情報に基づき、落ち着いて行動をとる必要があります。

UPZでの防護処置の範囲(イメージ)



※出典：日本原子力文化財団「原子力総合パンフレット2020年度版」

■ PAZ: 予防的防護装置を準備する区域

放射線物質が環境へ放出される前段階から、予防的に避難を準備する区域のことをいいます。川内原子力発電所を中心におおむね半径5 Km圏内に定められています。

■ UPZ: 緊急防護装置を準備する区域

影響を最小限に抑えるため、状況に応じて屋内退避または避難などの防護装置を準備する区域のことをいいます。川内原子力発電所を中心におおむね半径5~30Kmの範囲内に定められています。

原子力災害時の住民の行動

自然災害と連動して原子力災害が発生した際は、まず、地震、津波、火災などの自然災害から身に迫る危険を回避することが重要です。その災害の情報を知り、危険の大きさを判断し、身の安全を確保します。そのうえで、原子力災害の規模や危険性に関する情報を得て、屋内退避や避難などの行動に移ります。情報は、テレビやラジオ、インターネット、緊急速報メール、防災行政無線、広報車などを用いて住民へ繰り返し提供されます。

避難先への避難イメージ



※出典：日本原子力文化財団「原子力総合パンフレット2020年度版」



避難情報

Hioki City Hazard Map

避難所でのマナー

● 周囲への心配り

自分がされたくないことをしないよう、周りの方への心配りをしましょう。



● 要配慮者への気配り

お年寄りや体の不自由な方など、要配慮者への気配りを心がけましょう。



● 助け合い

困った人がいたら積極的に助けましょう。



● 衛生面にも注意

みんなが使う場所は定期的に清掃をして清潔に保ちましょう。



● ルールや役割を守る

避難所内で決められたルールや役割は守りましょう。



● 惑わされない

うわさやデマに惑わされないようにしましょう。



● 感染症の予防

手洗い・咳エチケット等の基本的な感染症対策を徹底しましょう。



● ペットの飼育管理

地域の避難所がペットとの同行避難が可能かどうかをあらかじめ確認し、避難所のルールを守りましょう。



感染症について

● ウイルス感染者の避難について

ウイルス感染者で自宅待機中に、避難の必要がある場合は、まず保健所や市役所に連絡し、対応を仰ぎます。

※ウイルス感染者が自宅にいる家族についても同じです。

● 避難所で体調を崩したらすぐに避難所の責任者に報告

ちょっとした体調がおかしいと思ったらすぐに避難所の責任者に報告し指示を仰ぎましょう。もしウイルスが蔓延すれば、他の避難者に迷惑を掛けてしまいます。身体の弱い方に移してしまうと、その人は症状が重くなってしまう可能性もあります。

● 避難所へ避難する場合は

市も感染対策に必要な物資の配備に努めますが、備蓄品には限りがありますので、ご自身やご家族の健康衛生管理に必要と思われるものは、可能な限り持参してください。

【持参する物の例】

・マスク・常備薬・体温計・使い捨ての手袋・消毒液



自助・共助 1~2 風水害 3~4 土砂災害 5~6 津波災害 7~8 地震災害 9 原子力災害 10 避難情報 11~14 避難所一覧 15~16 自主防災 17~18



持出品チェックリスト

いざという時のために下記リストを参考に準備しましょう。
また、備蓄品の飲食物は保存期間に注意しましょう。

非常時の持出品(すぐに持ち出せるように、リュックなどにまとめておきましょう。)

- 貴重品 キャッシュカード 預金通帳 印鑑 免許証・マイナンバーカード
 健康保険証
- 非常食 飲料水(ペットボトル) 栄養補助食品 菓子類
- 救急医薬品 お薬手帳 持病薬 常備薬(風邪薬・傷薬など)
 ばんそうこう 消毒液 マスク 除菌シート 体温計
- 生活用品 衣類 防寒着 雨具 タオル ティッシュ(ウェット)
 運動靴 軍手 帽子又は防災ずきん ライター
 ビニール袋 生理用品 ラップフィルム
- その他 携帯ラジオ 携帯電話 充電器 懐中電灯 ホイッスル
 電池 筆記用具 メガネ 思い出品



備蓄品(1週間分の備蓄を心がけましょう。)

- 食料・飲料水 飲料水(1人1日3リットル) 缶詰
 栄養補助食品 インスタント・レトルト食品
- 燃料など 卓上コンロ ガスボンベ 固形燃料
- 生活用品 毛布 寝袋 洗面用具 鍋 やかん バケツ
 トイレットペーパー 携帯トイレ 使い捨てカイロ
- その他 ビニールシート 新聞紙 ろうそく ガムテープ
 ロープ ポリタンク



赤ちゃんや介護を必要とする方がいる場合は、次のようなものがが必要です。

赤ちゃんがいる場合

- ミルク、ほ乳びん 乳幼児用の薬
- 離乳食、食器 母子健康手帳
- お尻拭き 消毒液
- 帽子・防寒着 紙おむつ
- バスタオル おんぶひも
- ガーゼ・ハンカチ 衣類(着替え)

介護を必要とする方がいる場合

- おかゆなどの食料品(介護食)
- 障害者手帳、介護保険証など
- 紙おむつ 介護用品
- 帽子・防寒着 お尻拭き
- 衣類(着替え) 常備薬

※介護の状態などに応じて備えてください

ローリングストック法(食べながら備える)

ローリングストック法とは、日常生活で消費しながら備蓄することです。食料等を一定量に保ちながら、消費と購入を繰り返すことで、備蓄品の鮮度を保ち、いざという時にも日常生活に近い食生活を送ることが目的です。 ※1週間分の食料を備蓄しましょう。

ポイント1 古いものから使うこと

備蓄する食料が古くなってしまわないよう、必ず一番古いものから使うようにしましょう。新しいものを奥に配置し、手前の古いものから使っていき、というように、備蓄方法のルールを決めて上手に循環させることが大切です。

ポイント2 使った分は必ず補充すること

ストックしているものはいつ食べても構いませんが、消費した分は必ず買い足すようにしましょう。補充を怠ったタイミングで災害が来る可能性もあります。消費した分の補充は必ず直後に行いましょう。





避難情報

Hioki City Hazard Map

家族の防災会議について

● 家族と話し合いましょう

災害が起きた時のために、家族で話し合っておきましょう。いざという時の「自分の役目」「避難場所」「連絡方法」を普段からしっかり確認しておくことが大切です。

※家族等の役割分担

※家の近所の避難場所

※家族が離ればなれになった時の連絡方法

※非常持ち出し品の置き場所

● 避難場所を調べよう ※危険な場所と、避難場所を調べよう

- ※学校から家までの帰り道を書いたり、地図をはったりして、
 - ・安全な場所には ○ 危険な場所には × をつけましょう。
 - ・家族といっしょに、話し合いながら書いてみましょう。
 - ・また、避難場所への安全な道にも印をつけましょう。



● 裏表紙の情報についても相談し記入しましょう

自助・共助
1~2
風水害
3~4
土砂災害
5~6
津波災害
7~8
地震災害
9
原子力災害
10
避難情報
11~14
避難所一覧
15~16
自主防災
17~18

マイ・タイムライン

住民一人ひとりの単位で、事前の計画等の充実を促すためのものです。

国土交通省 マイ・タイムライン 検索



岡谷さんのマイ・タイムライン

要配慮者向けのマイタイムライン情報を提供しています。

岡谷さんのマイ・タイムライン 検索



マイ・タイムライン “防災行動計画を考えて記入しましょう”

マイ・タイムラインとは住民一人ひとりのタイムライン(防災行動計画)であり、台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な**防災行動**を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動のための**一助**とするものです。

警戒レベル	家族の行動	地域の行動	記入例
警戒レベル 1			災害情報の確認 記入したマイ・タイムラインと避難経路を再確認!! 最寄り避難所の状況を確認 ※避難所についてはP15～16
警戒レベル 2			避難準備の開始 ↓ 準備に要する時間 (30分) 避難準備完了
警戒レベル 3			父に連絡 携帯: □□□-0000-△△△△ 勤務先: □□□-0000-△△△△ 災害情報の確認 電気のコンセントを抜き、ブレーカーを切る。ガスの元栓を閉める。戸締りも忘れずに。
警戒レベル 4			避難開始 避難場所は××× ↓ 避難に要する時間(40分) 避難完了
警戒レベル 5			

警戒レベル4までに必ず避難



避難所一覽表

Hioki City Hazard Map



指定避難所一覽表

地域	開設優先度	避難所	住所	電話番号
東市来	②	東市来保健センター	東市来町長里185	099-274-2111
	③	上市来地区公民館	東市来町養母11393-1	099-274-3665
		高山地区公民館	東市来町養母15819-4	099-274-9856
		湯田地区公民館	東市来町湯田3299-1	099-274-2863
		伊作田地区公民館	東市来町伊作田4318	099-274-9870
		美山地区公民館	東市来町美山1690-4	099-274-4370
	④	上市来小学校体育館	東市来町養母11421	099-274-9302
		鶴丸小学校体育館	東市来町長里165-2	099-274-2103
		東市来総合福祉センター	東市来町湯田3264	099-274-6565
		湯田小学校体育館	東市来町湯田4042-3	099-274-2043
		川原記念館	東市来町神之川78-1	099-274-2111
	伊集院	①	日置市中央公民館	伊集院町郡一丁目100
③		伊集院地区公民館※	伊集院町下谷口1857	099-273-0315
		飯牟礼地区公民館	伊集院町飯牟礼910	099-273-1632
		土橋小学校体育館	伊集院町土橋1377	099-273-9331
		伊集院北地区公民館	伊集院町下神殿1147-1	099-273-0769
④		妙円寺地区公民館	伊集院町妙円寺1-2200-793	099-272-4550
		伊集院武道館	伊集院町下谷口1786	099-273-2111
		伊集院小学校体育館	伊集院町下谷口1836-1	099-273-4852
		飯牟礼小学校体育館	伊集院町飯牟礼1049-1	099-273-2580
		鹿児島城西高等学校体育館	伊集院町清藤1938	099-273-1234
		伊集院高等学校体育館	伊集院町郡1984	099-273-2195
		土橋中学校体育館	伊集院町土橋1350	099-273-9230
		伊集院北中学校体育館	伊集院町下神殿1154	099-272-4996
伊集院北小学校体育館		伊集院町下神殿1995-1	099-273-0653	
妙円寺小学校体育館	伊集院町妙円寺1-112	099-273-1822		
日吉	②	日吉老人福祉センター	日吉町日置1132-1	099-292-2321
	③	日新地区公民館	日吉町山田308-2	099-292-2312
		日吉中央公民館	日吉町日置377-1	099-292-2111
		日吉研修棟(せつぺとべひよし館)	日吉町日置5302	099-292-2277
		吉利地区公民館	日吉町吉利4329	099-292-3615
吹上	②	吹上中央公民館	吹上町中原2568	099-296-2124
	③	吹上地区公民館	吹上町入来290	099-296-2083
		永吉地区公民館	吹上町永吉5947	099-297-2005
		花田小学校(校舎)	吹上町田尻239	099-296-2149
		坊野防災備蓄倉庫	吹上町田尻4710-5	099-296-2111
		野首地区公民館	吹上町田尻6037-1	099-296-2127
		藤元地区公民館	吹上町与倉3127-8	099-296-2896
		平鹿倉地区公民館	吹上町湯之浦5356-6	099-296-2889
		和田小学校(校舎)	吹上町和田2104	099-296-2134
	④	吹上浜公園体育館	吹上町中原1353-2	099-296-3077
		吹上中学校体育館	吹上町中原1691	099-296-2009
		吹上高等学校体育館	吹上町今田1003	099-296-2411
		吹上勤労者体育センター	吹上町湯之浦629-8	099-296-2115

※神之川の浸水想定災害の場合は優先度1とする。

自助・共助
1~2
風水害
3~4
土砂災害
5~6
津波災害
7~8
地震災害
9
原子力災害
10
避難情報
11~14
避難所一覽
15~16
自主防災
17~18



指定緊急避難場所(津波・高波)

地域	避難場所	所在地
東市来 (10)	伊作田地区公民館※	日置市東市来町伊作田4318番地
	川原記念館※	日置市東市来町神之川78番地1
	赤崎公民館	日置市東市来町湯田591番地
	東市来総合運動公園	日置市東市来町伊作田1037番地2
	川北慰霊堂上方国道270号バイパス	日置市東市来町伊作田1443番地先
	中伊作田公民館	日置市東市来町伊作田3787番地2
	中伊作田運動広場	日置市東市来町伊作田4094番地
	永山公民館	日置市東市来町伊作田6678番地
	鉦口運動広場	日置市東市来町伊作田7273番地
	神之川公民館	日置市東市来町神之川83番地1
日吉 (11)	吉利地区公民館※	日置市日吉町吉利4329番地
	旧成田商店前	日置市日吉町神之川661番地5付近
	帆之港公民館	日置市日吉町日置166番地1
	西郷公民館	日置市日吉町日置695番地
	日新公民館	日置市日吉町日置2006番地2
	吉利酪農会館広場	日置市日吉町吉利901番地3
	池王神社	日置市日吉町吉利1229番地1
	南区公民館	日置市日吉町吉利1350番地
	旧八重倉縄屋付近広場	日置市日吉町吉利2204番地5
	迫牧場付近広場	日置市日吉町吉利2925番地1
	北区公民館	日置市日吉町吉利5288番地2
吹上 (11)	正ちゃん前	日置市日吉町吉利1589番地付近
	若宮神社	日置市吹上町入来3853番地1
	青屋墓地	日置市吹上町入来3911番地
	青屋防火水槽付近市道	日置市吹上町入来4060番地2
	自転車道休憩場	国有林内(吹上砂丘荘下)
	小野浜の高台	日置市吹上町小野1256番地1付近
	塩入橋バス停上方農道	日置市吹上町永吉3166番地3
	龍泉寺駐車場	日置市吹上町永吉3533番地2
	下草田公民館上方農道	日置市吹上町永吉3567番地
	原口班ゴミステーション周辺	日置市吹上町永吉3626番地1付近
	浜田分団車庫前	日置市吹上町永吉4775番地7付近

※指定避難所と重複

● 指定緊急避難場所とは

指定緊急避難場所とは、津波などによる災害が発生し、地域全体が危険になったときに一時的に待つ場所です。

具体的には、大規模な公園や緑地などが指定されています。

※基本的には食料や水の備えはありません。



自主防災

Hioki City Hazard Map

自分たちの地域は自分たちで守る！

平常時と災害時における自主防災組織の役割としては、次のようなことが考えられます。いざというときに組織力を発揮できるよう、平常時からみんなで協力し合いながら防災活動に取り組みましょう。

平常時の活動

■ 地域内の防災点検

災害発生時に、地域内に被害の拡大につながる要素はないか、また、避難行動要支援者がいないかなど確認を行う。

■ 防災訓練の実施

負傷者の応急手当て、救護所への搬送など災害を想定した防災訓練(避難訓練、図上訓練、消火器の使用方法や応急手当訓練など)を実施する。

■ 防災知識の普及

防災ガイドブックの作成など、住民一人ひとりの防災意識の高揚を図る。

■ 防災資機材の整備

災害発生時に必要とされる資機材を、地域の実情に応じて準備し、定期的に点検や使用方法の確認を行う。



災害時の活動

■ 情報の収集・伝達

自治体などと連絡を取り合い、災害に関する正しい情報を住民に伝達する。

■ 初期消火活動

出火防止のための活動や消火器、消防水利の確保、バケツリレーなどによる初期消火活動など。

■ 救出活動

負傷者や倒壊した家屋などの下敷きになった人たちの救出・救助活動など。

■ 医療救護活動

負傷者の応急手当て、救護所への搬送など。



要配慮者を災害から守る

平成25年6月に災害対策基本法が改正され、これまでの「災害時要援護者」を「要配慮者」とし、要配慮者のうち、自ら避難することが困難で特に支援を要する方を「避難行動要支援者」と言います。

■ 要配慮者との交流を密にする

日頃から近隣に住む要配慮者とあいさつを交わすなど交流を深めておく。また、プライバシーや本人の意思などに配慮しながら、支援のニーズを聞いておく。

■ 要配慮者を把握する

「避難行動要支援者名簿」等を参考に、要配慮者の把握、共有等を進めておく。

■ 要配慮者の視点でまちなかを点検する

避難路は車いすで通れるか、障害物がないかなど、要配慮者を安全に避難誘導できるよう、確認する。

■ 防災訓練への参加を促す

要配慮者の方に防災訓練に参加してもらおう。その際に、安否確認や避難誘導など、具体的な支援体制を決めておく。



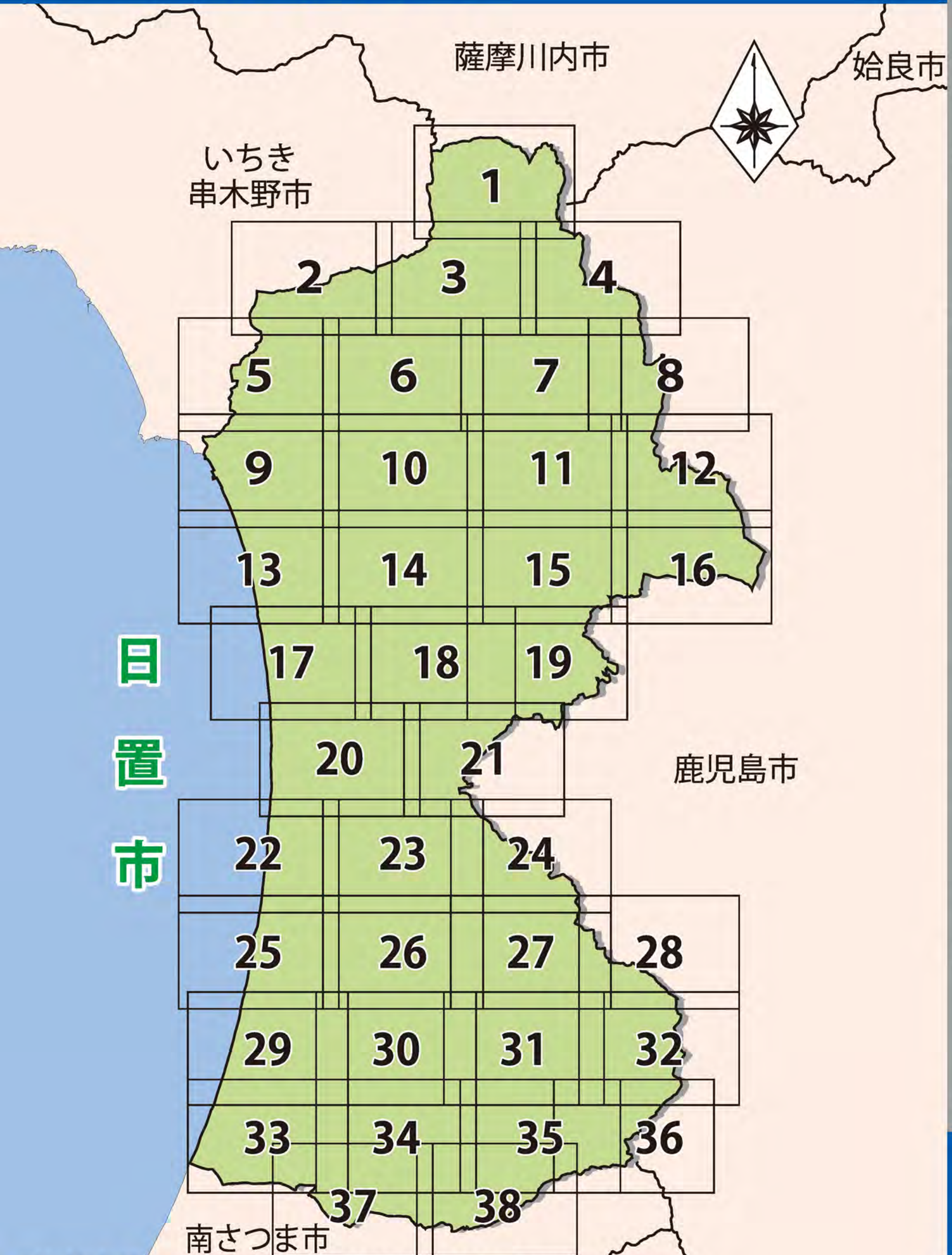
※要配慮者とは、高齢者・障がい者・乳幼児等の防災施策において特に配慮を要する方を指しています。

自助・共助
1~2 風水害
3~4 土砂災害
5~6 津波災害
7~8 地震災害
9 原子力災害
10 避難情報
11~14 避難所一覧
15~16 自主防災
17~18



索引図

Hioki City Hazard Map



日置市

- 1~2 風水害
- 3~4 土砂災害
- 5~6 津波災害
- 7~8 地震災害
- 9 原子力災害
- 10 避難情報
- 11~14 避難所一覧
- 15~16 自主防災
- 17~18

「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 3JHf 26」 「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」



わが家の防災メモ

Hioki City Hazard Map

わが家の
避難先

家族の
集合場所

家族の名前	生年月日	血液型	メモ(病名・病歴、携帯番号、勤務先など)
	西暦 年 月 日	血液型 Rh(+ / -)	
	西暦 年 月 日	血液型 Rh(+ / -)	
	西暦 年 月 日	血液型 Rh(+ / -)	
	西暦 年 月 日	血液型 Rh(+ / -)	

困ったときの連絡先

親戚や知人・かかりつけ病院などの連絡先を書いておきましょう。

名前	電話番号	住所	その他
		〒	
		〒	

災害用伝言ダイヤル

※災害時にご利用になれます。

災害用伝言ダイヤル

171

大規模な災害が発生し、安否確認等の電話によって電話回線が混雑し、電話が繋がりにくい状況でも、伝言の録音・再生により、被災地内の家族や親戚・知人等と連絡を可能にする「声の伝言板」です。



詳しい内容はNTTのホームページで確認してください

[171] または [NTT 伝言板]



携帯電話・スマートフォンの「災害用伝言板」

大規模な災害が発生した場合に、各携帯電話会社から提供される災害用伝言板です。スマートフォンや携帯電話からの安否情報の登録・確認ができます。
※詳しい内容は携帯電話各社のホームページ等で確認してください



NTT西日本 伝言板

体験利用提供日

災害用伝言ダイヤル(171)では、災害発生に備えて利用方法を事前に覚えていただくことを目的として、体験利用できる機会を提供します。

- 毎月: 1日, 15日 00:00 ~ 24:00
- 正月三が日: 1月1日 00:00 ~ 1月3日 24:00
- 防災週間: 8月30日 9:00 ~ 9月5日 17:00
- 防災とボランティア週間: 1月15日 9:00 ~ 1月21日 17:00